

福祉の ひろば

2004.3

No.12

- 編集委員が選んだ 7人の社協マンが答える…… 2
- こんな取り組みをしています！
 - ・うつぎ会（横浜町）…………… 6
 - ・和幸保育園（青森市）…………… 6
- 知っててよかった！ 福祉情報 …… 7
- 県社協から …… 8

テーマ 社協って何？

明るいまち 楽しいまち
一人の不幸な者もないまちを
みんなで力を合わせて作る仕事をするのが
社会福祉協議会です

まちを幸福にしようとする個人、団体が寄り合って
家庭や社会の欠点がどこにあるかを調べ
それをよくするにはどうしたらよいか計画を立て
皆で力とお金を出し合って
楽しい生活の出来るまちを作るのが
社会福祉協議会です

編集委員が選んだ七人の社協マンが答える！

「社協って何?」
そんな社協に対する あなたの素朴な疑問に
私たちがお答えします。

Q 社協とは??

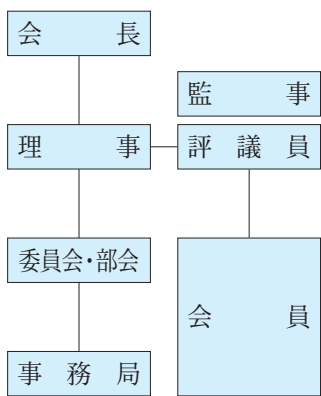
社会福祉協議会は、社会福祉法に規定された地域福祉の推進を目的とした団体で、各市町村、各都道府県と全国組織があります。市町村社協は、地域住民や社会福祉事業関係者が会員として構成され、最も身近な地域で福祉活動を行っています。昭和二十六年から各市町村で組織され、現在は県内全ての市町村にあります。

主に次のような事業を行っています。

- 1 心配ごとなどの相談
- 2 生活福祉資金などの貸付
- 3 福祉の理解を高めるための啓発活動
- 4 訪問介護事業などの在宅福祉サービス
- 5 地域住民や関係機関との連絡調整

県内の市町村社協は全て社会福祉法人で、執行部である理事会と、会員を代表した議決機関である評議員会が運営しています。監事は適正な事業を行っているかをチェックし、細かな課題について委員会や部会を組織して、事務局が事業を行っています。

社会福祉協議会の組織

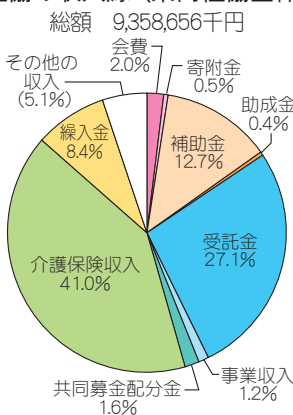


Q 何やっているの? どんなの??

地域住民の互助組織

地域社会では、法律では解決しえない様々な課題が、集団・個人に発生します。このような課題を協議し支援するための組織として、住民が自ら会費を出し合い作った団体が社協です。支援するにあたっては、地域の風土・習慣、個人の尊厳・生活歴を大切にすることが重要です。
(車力村・松橋局長)

社協の収入源 (県内社協全体)



「福祉公民館」

社協は「福祉公民館」です。やりたいことをやったり、提案したり、意見を出す場所です。社協は活動の調整役となり、あなたの活動を地域の財産として育てる応援をします。
(黒石市・渡辺局長)

黒石市社協・渡辺修一 局長



昭和26年黒石市生まれ。陸上自衛隊音楽隊や音楽関係の仕事に従事後、昭和54年から勤務。社協マン歴24年。

地域住民が安心して暮らせるように

小地域のネットワーク活動、介護保険のよきな直接サービス、相談事業と、本当に様々なことに取り組んでいます。

簡単にいえば、地域住民が安心して暮らせるように、柔軟で、そのときに必要なことを先駆的に取り組んでいく組織です。
(木造町・長内次長)

地域福祉を高めるまとめ役

住民をはじめ、いろいろな立場の人の参加を得て、地域の福祉を高めるための推進役、まとめ役としての役割を持っている民間の団体です。
(尾上町・白戸局長)

住民参加による福祉活動支援

福祉に関する様々な相談に応じ、困っていることの解決のお手伝いに努めます。地域の皆さんの協力を求めながら地域で福祉活動の推進に努め、住民参加による福祉活動を支援しています。
(七戸町・町屋次長)

七戸町社協・町屋とも子 次長



七戸町生まれ。短大卒業後、昭和59年から勤務。社協マン歴19年。

木造町社協・長内克之 次長



製薬会社勤務後、昭和62年から勤務。社協マン歴16年。

Q 社協ってなぜ必要なの??

社会資源の調整役

個人や家族では解決できない問題を地域の社会資源を調整して援助できるところは、社協しかありません。
(尾上町・白戸局長)

高い公共性と安心感

民間とはいえ社協には高い公共性と安心感がありますし、町の社会資源の状況を考えればさらに必要性は大きい。
(木造町・長内次長)

関係を広げる

他の団体や人との関係を広げていけるのは社協だけだからです。
(黒石市・渡辺局長)

行政サービスの限界

行政のサービスには限界があるので、社協は絶対に必要です。
(十和田市・佐々木次長)

地域福祉の黒子

行政が立派な箱物を建てたとしても、住民がその組織と必要性を理解していなければ物置になってしまいます。地域住民自ら作った自主的組織である社会福祉協議会が黒子となり、地域住民の福祉の意識を高める組織として重要な役割を果たしています。

車力村社協・松橋 隆 局長



昭和25年生まれ。知的障害者更生施設勤務後、昭和52年から任意社協に勤務。社協マン歴26年

(車力村・松橋局長)

Q 社協のいいところは？

何でもできる

「何でもできる、枠がないことです。『福祉』が『幸せ』であるならば、人に関わる衣食住全てが社協の仕事となります。その気になれば何でもできるのが社協のいいところです。」

（黒石市・渡辺局長）

連絡調整

連絡調整能力は他の福祉従事者と違い社協職員だけが持つべきものではないでしょうか。

（十和田市・佐々木次長）

あなたの発想が実現できる

地域住民自らの発想が直接実現できるのが社会福祉協議会です。

（車力村・松橋局長）

十和田市社協・佐々木重康次長



昭和24年東京銀座生まれ。結婚により十和田市に移住後、昭和48年から勤務。社協マン歴30年。



ボランティア推進校や福祉活動体験を通して、子どもたちが「生きる力」と「思いやりの心」を育てています。

子どもたちの福祉教育

生活福祉資金等の貸付

低所得者、障害者、高齢者及び離職者世帯を対象とした生活福祉資金を貸付。少額の現金貸付や高額療養費の貸付を行っている社協もあります。



総合的に対応

相談に対してバラバラにサービス提供するのではなく総合的に対応できることと、制度にしばられず、柔軟性とネットワークを生かして問題を何とかするという社協自体が、解決手段を持っていることです。

（尾上町・白戸局長）

尾上町社協・白戸一好局長



昭和31年尾上町生まれ。大学卒業後、昭和56年に社協に配属。社協マン歴22年。

制度がなくてもできる

柔軟なところ。地域住民や困っている方々のニーズに対応するために、制度がなくても社協のサービスとして実施する。例えば移送サービスのようには必ず必要だから始めて、それを続けながら制度化していく活動をしてきました。住民ボランティアから福祉ニーズを吸い上げるような活動は社協ならではの活動です。

（木造町・長内次長）

Q 役場と違うの？

先駆的な活動

地域住民にとって必要な制度化されていないものに視点をあて、地域住民を巻き込んでソーシャルアクション（社会行動）を起こすなど、常に先駆的な発想が役場とは違います。先駆的に事業展開した後に制度化されたものとして、訪問入浴車、グループホーム、デイサービス、福祉安心電話、NPOなど多種に及びます。

また、社会福祉協議会で実践している福祉教育は、児童生徒のボランティア活動へと繋がりが、学校での総合学習の中でも実践されています。民生委員活動の中から提唱され生まれた生活福祉資金はソーシャルアクションが制度化したと言えます。

（車力村・松橋局長）

制度にない活動

行政は、法律や制度に基づいた仕事を行う機関ですが、社協は、制度上にはない地域福祉

地域住民や社協が主体となり、高齢者や障害者の社会参加、子育て家庭の孤立化防止を目的として、食事会や茶話会、レクリエーションを実施。



ふれあいいきいきサロン

訪問介護事業などの介護保険サービスや移送サービスや配食サービスなどを行い、高齢者や障害者の在宅での安心した生活を支えています。

在宅福祉サービス



社の課題や住民ニーズに基づいて仕事をする団体です。社協が住民から年会費をもらう住民会員制をとっているのは、住民の参加を得ているからこそ住民が抱えている問題を解決できるという性格だからなのです。

（尾上町・白戸局長）

自主性と公共性

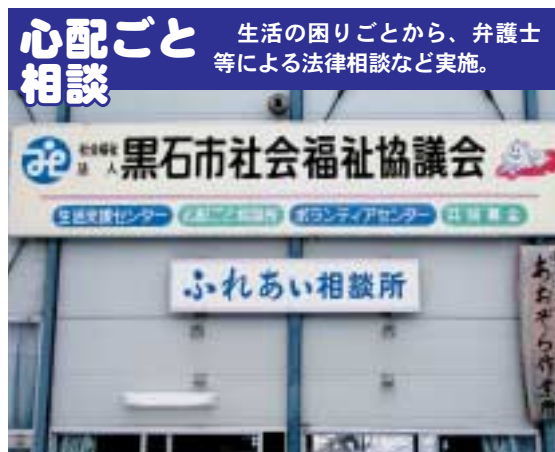
地域のみなさんやボランティア、行政機関の協力を得ながら活動している民間の社会福祉団体ですので、地域のみなさんに支えられた「自主性」と、社会福祉関係者に支えられた「公共性」の二面性をもって、福祉サービスや福祉事業を行っているところが、役場とは違うところです。

名川町社協・山本郁子次長



弘前市生まれ。黒石市育ち。名川町に嫁ぎ、平成2年から勤務。社協マン歴13年。

（名川町・山本次長）



Q 何人くらい職員がいるの？

県内の社協職員の総数は千九百七十五人で、一社協当たり平均すると二九・四八人になります。

そのうち、事務局職員総数は三百六十二人で、一社協当たり平均すると五・四人の事務局職員が働いています。

介護保険サービスや児童館などの業務に従事する職員は千六百十三人で、一社協当たり平均すると二十四人の業務従事職員が働いています。
(平成十五年四月現在)

事務局職員には、福祉活動専門員や地域福祉推進員という地域福祉活動をコーディネートする専門職があり、社会福祉主事任用資格があります。

ほかに経理などを実施する事務職員がいます。実施している事業によって、介護職やケアマネージャー、児童館の児童厚生員などの専門職が働いています。

市町村社協職員総数ベスト10

| 順位 | 市町村名 | 職員総数 |
|----|-------|------|
| 1 | 青森市 | 165 |
| 2 | 弘前市 | 128 |
| 3 | 五所川原市 | 81 |
| 4 | 車力村 | 69 |
| 4 | 鶴田町 | 69 |
| 6 | 黒石市 | 65 |
| 6 | 木造町 | 65 |
| 8 | 大名川町 | 60 |
| 9 | 稲垣村 | 59 |
| 10 | 稲垣村 | 58 |

Q 相談すれば何をしてくれるの？

ぐだめぎから法律相談まで

何でも受け付けます。全てが社協でやるのではなく、相談者自身が自分の力で問題を乗り越えていけるような支援を心掛けています。

(木造町・長内次長)



県内のボランティア活動者は約15万人。こうしたボランティアが、地域に住む一人ひとりの幸せを願い、元気に活動ができるよう、拠点づくりや交流の場を提供しています。

ボランティア活動支援

福祉安心電話サービス

在宅で生活する高齢者世帯等を対象に、近隣に住む協力員や関係機関とのネットワークにより、緊急時の安全と日常生活の安心とふれあいを24時間提供。



力強い味方

あなたの問題を一緒に解決します。社協が何でも解決できるわけではありませんが、たらい回しには絶対にしません。専門機関への相談が必要なときには、一緒に出向いて解決まで付き合います。
(黒石市・渡辺局長)

とことん付き合います

どんなに難しい相談に対しても、とことん解決までのお手伝いをするのをモットーにしています。
(車力村・松橋局長)

総合相談窓口

相談の総合窓口として、あらゆる相談に応じています。専門性を要する相談については責任をもって専門家を紹介し、日常的相談については民生委員や行政関係機関

から協力を得ながら相談の解決につなげる役目を担っています。
(名川町・山本次長)

最後まで付き合います

福祉の相談の他に、サラ金問題、離婚問題など、本人が進む方向を自分で見出すことができるよう最後まで問題解決に関わります。
(尾上町・白戸局長)

Q もらった寄付金は

何に使われているの？

A あなたの希望に沿います。希望がなければ…

基金への積み立てや小口の現金貸付事業「たすけあい資金」、社協の自主事業に使われています。
(黒石市・渡辺局長)

寄付は市町村からの委託事業等以外の、社協が独自に行う事業全てに使われています。
(十和田市・佐々木次長)



老人クラブや身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会などの団体の事務局を預かり、当事者団体やボランティアと協働で地域福祉を推進しています。

団体との協働

福祉サービスの 利用援助

～地域福祉権利擁護事業～



ふだん使うお金の管理や福祉サービス利用の手続きをします。

寄付金は法律相談、サロン活動、福祉教育など、地域に還元していく事業の事業費として使われています。(木造町・長内次長)

地域住民に還元するために、社協の活動車輻の購入に充てています。他には、小口の現金貸付事業である「たすけあい資金」の原資に使っています。(車力村・松橋局長)

子どもの遊び場の遊具修繕費、一人暮らし老人のふれあい昼食会、料理教室、障害者通勤費の助成金などに使われています。(尾上町・白戸局長)

高齢者福祉事業・福祉教育事業・地域交流事業など、地域福祉の充実のために役立てています。(七戸町・町屋次長)

社会福祉 大会



社会福祉への関心を高、住民参加のまちづくりを推進のため、講演や活動発表、社会福祉活動に功績のあった方々に表彰状などを送る式典を行います。

地域福祉事業（心配ごと相談・低所得世帯支援・各種団体の育成）を行うための、人件費や需要費に使われています。(名川町・山本次長)

地域福祉事業（心配ごと相談・低所得世帯支援・各種団体の育成）を行うための、人件費や需要費に使われています。(名川町・山本次長)

Q 社協は今後どうなるの？
個人の尊厳と自立の支援

地域住民のきめ細かなニーズに応えることができるような支援体制を作っていくかなければなりません。

利用者の権利や保護の役目から「地域福祉権利擁護事業」がスタートしました。地域住民はもちろん保健・医療・福祉と連携している社協だからこそ総合的な支援ができ、個人の尊厳と自立への支援体制を作っていくものと考えます。

(名川町・山本次長)

存在感のある社協

市町村合併は、部門別に専門性を持って対応できるようになるチャンスであり、社協にしかできないものを住民に示し、「住民にとって存在感のある社協」がこれから必要です。(尾上町・白戸局長)

福祉の大工とセールスマン

より小さな地域での活動を大切にしなければいけません。市町村合併により大きな自治体ができますが、町内単位の身近な地域で、地元の人たちが自分たち自身で行う事業を大切に、それを支援するのが社協です。

そのためには、小地域の核を大事にして、「福祉の大工」として作り上げ、「福祉のセールスマン」として売り込むことが社協の姿だと思えます。(黒石市・渡辺局長)

福祉は住民の力で

これまでのように、時代のニーズに併せて変化していくと考えます。

地域福祉 座談会

地域住民への社協事業への理解促進や地域の福祉ニーズの把握を目的として、町会単位で事業説明、質疑応答、ワークショップなどを行っています。



福祉は住民の力で行うものだという啓蒙・啓発が必要であり、それは社協の役割です。

社協は先駆的な活動をモデル的に行う機関でもあります。(十和田市・佐々木次長)

地域特性を大事に

市町村合併によりに広域による活動に展開が必要とされますが、今までの地域の特性を大事にしながら、それに併せて進めていく必要があります。(木造町・長内次長)

財政難？でも社協の真価

今後、財政面の悪化は否めません。社会福祉法で地域福祉の重要性は規定されていますが、財政面には触れていません。

非営利事業である地域福祉を推進するには、住民の参加と市町村からの支援が不可欠です。

同時に社協の自助努力である介護保険事業、収益事業などの導入も必要です。

目前にせまった市町村合併に関しては、社協事業の大幅な見直しがあると思われる中で、地域福祉の原点である「住民組織化活動」「小地域ネットワーク」を確実に実践できるかどうかで、社協の真価が問われるのではないのでしょうか。その中に地域福祉の諸課題が埋もれているはずはです。(車力村・松橋局長)

社協の五原則

社協活動の五原則である「住民ニーズの基本原則」「住民活動主体の活動」「民間性の原則」「公私協働の原則」「専門性の原則」に立ち返り、福祉課題の解決に努め、社協らしい活動にしていけることが必要だと思います。(七戸町・町屋次長)

グループ紹介

横浜市

ボランティアグループ うつつぎ会

月二回、特別養護老人ホーム「なのはな苑」に行き、入浴後の髪かわかし、爪きり、耳掃除、車イスの移動などのお手伝いをしています。

施設ボランティアとして発足し、その活動は十四年目に入ろうとしています。

活動内容が喫茶ボランティアから介護ボランティアへと変わりましたが、入所者のためになることを、と常に考えております。

施設へ外部の空気を持ち込み、入所者の話し相手になるよう努めています。

施設の行事で、お花見、買い物、ドライブの際には話し相手になったり、車イスを押しあげたりしています。夏祭りには、模擬店の世話役として活動しております。



施設へボランティアの風を

入所者の状態は様々ですが、先輩として敬意を表しつつ、いろんなことを学んでいます。何よりも人の役に立てる自分を発見できたことが一番の喜びです。

問合せ先

〒039-4141 横浜町字三保野130-15
TEL 0175-78-2049

こんな取り組みをしています!

施設紹介

青森市

和幸保育園

〒030-0861 青森市長島2丁目1-2
社会福祉法人青森和幸会 TEL 017-776-4826



★生き生きとした 明るい子どもに

和幸保育園は、昭和四十二年九月に設立され、三十六年を経過しました。本園は青森市の中心部に位置し、周辺には官庁街や大手デパートが集中する商店街があります。

「生き生きとした明るい子どもに育てる」ということをモットーに健康・環境・人間関係・言葉・表現力を重視して取り組んでいます。

職員四十一人で日曜祝日の概念を用いず、一ヶ月変動制集四十時間勤務で休日保育・長時間開所（七時～二十一時）に対応しています。三階建てで〇歳児は三階に、一・二歳児は二階に、三歳児以上は一階にクラスを置き、それぞれの階に責任者を置き、日常の保育業務を行っています。

★夕方に園内研修会実施

園長、副園長、主任保育士がスーパーバイザーとして職員の育成を図っています。



テーマを決めて職員研修を行っています

勤務時間が多様なため、職員全員が集まって園内研修会を実施することは難しいのですが職員が共通の認識を持つこと、情報を共有化すること、職員が新しい情報を吸収し良い園づくりをするため、「園内研修会」を年六回以上開催しています。

主な内容は、①救急看護法等の保健衛生に関する知識と実技 ②県内外へ研修に参加した職員からの研修報告 ③実務に則したケーススタディ ④カリキュラム立案にあたっての検討 ⑤各行事等の計画や反省 ⑥その他、父母とコミュニケーションの取り方についてや苦情処理・第三者評価等です。毎回、核となるテーマを決めて、時には実技や演習を交えながら午後五時半から午後八時まで行っています。

★地域全体で子育て支援

平成六年から地域子育て支援センター事業の開始を機に「子育て推進委員会」を設置し、地域ぐるみで子育てを行うための情報交換、保育所等を拠点とした子育てネットワークづくりの促進等を図るため「地域担当者研修会」を年四回開催しています。この研修会では、小児科医・福祉事務所・民生委員・主任児童委員・子育てメイト、職員等が参加し、地域全体で子育て支援する基盤づくりに励んでいます。

得福祉情報

進学費用をお求めの方に

～無利子の修学費、就学支度費の貸付制度があります～

1 母子寡婦福祉資金の「修学資金」「就学支度資金」

「修学資金」は、母子家庭の児童又は父母のいない児童に対して、高校、専門学校、短大（専修学校含）、大学に修学させるための授業料、書籍代、交通費などを無利子で学校の種類別に月額18,000円～63,000円を限度として貸し付けする資金です。

「就学支度資金」は、母子家庭の児童又は父母のいない児童に対して、小学校、中学校、高校、専門学校、短大（専修学校含）、大学の就学、修業に必要な被服等の購入資金として無利子で学校の種類別に一時金39,500円～450,000円を限度として貸し付けする資金です。

窓口は、各市町村です。

2 生活福祉資金の「修学費」「就学支度費」

「修学費」は、低所得世帯を対象として、高校、専門学校、短大（専修学校含）、大学に就学するのに必要な経費を無利子で学校の種類別に月額18,000円～63,000円を限度として貸し付けする資金です。

「就学支度費」は、低所得世帯を対象として、高校、専門学校、短大（専修学校含）、大学への入学に際して必要な経費を無利子で学校の種類別に一時金75,000円～450,000円を限度として貸し付けする資金です。

窓口は、各市町村社会福祉協議会です。

* 資金の貸し付けは、母子寡婦家庭の場合、母子寡婦福祉資金が生活福祉資金よりも優先されます。日本育英会など他の資金との併用はできませんのでご注意ください。

福祉 つていなか

県内にお住まいの外国人にお伺いしました
あなたの幸せ何ですか



趙 辛行（チヨ・シンヘン）さん
（韓国）ソウル市出身・四十四歳

大韓航空の職員として勤務しており、青森には仕事の都合でやってきました。主に青森空港で飛行機の整備を担当しています。

青森に来てびっくりしたのは、やっぱり雪の量です。気温は韓国のほうが低いのですが、雪はそんなに降りません。それに比べると青森は一晚で三十センチも降りますから、雪片づけがとても大変で、これだけは勘弁してもらいたいものです。今はアパートでひとり暮らしをしています。時々、韓国にいる家族のことを思い出

すと寂しくなることはありますが、青森空港と一緒に仕事をしている職員の人たちとお酒を飲みに行く機会があり、これがまた楽しくて、今まで夜の誘いを断ったことはありません。空港で働く仲間が本町で覚えた津軽弁「な、どさ」「わ、ゆさ」などを話すと、とても喜んでくれます。

こどもたちが冬休みときは、家族みんなで遊びに来ます。こどもたちは青森の大ファンで、その理由がスキー場です。毎日のように滑りに行きます。妻と三人のこどもがいるのですが、家族でいると、とてもにぎやかで、楽しくて、本当に幸せです。

韓国では、日本と同じく身体障害、知的障害を持つこどもたちは養護学校に行きます。まれに普通学校に通うこどももいますが、周りの健常児の親たちから登校に反対する意見が出ることもあります。とても悲しいことです。健常者、障害者分け隔てのない国になって欲しいと思います。

身体拘束ゼロ 介護相談室



おむつ外しやお尻の掻きむしりをしないように、介護衣（つなぎ服）を着せるのは身体拘束であると聞きました。どうしたら良いのでしょうか。

身体拘束をしない
ケアの工夫
あります！

なぜ、おむつを外してしまうのか、皮膚を掻きむしるのか。様々な理由があります。排便による不快感やおむつが湿っている、皮膚が痒い、など。

よく観察して、それらの原因が把握できれば、介護衣を着せる前に、ケアの工夫や仕方が見つかることも考えられます。

一つの方法として、つなぎ服をパジャマやエプロン、私服などに替えることも多くなっています。

例えば、上着とズボンのパジャマで、ズボンのゴム紐を布紐に取り換えて、後ろで結び、結び目は中に押し入れておくなどの工夫です。

肝心なことは、いじらない、掻きむしらないための基本ケアを実践することです。

困ったら、ぜひ相談ください。

介護の工夫に関する相談は

身体拘束ゼロ介護相談窓口（青森県社会福祉協議会内）

電話 017-731-3214 FAX 017-731-3215

毎週月曜日と木曜日午前10時から午後3時までは専任相談員が対応します

精神障害者と共に生きる地域社会を考える集い



誰もが気持ちよく暮らせる地域社会を目指して、まず一歩！

平成16年1月26日八戸市総合福祉会館、2月24日青森市県民福祉プラザを会場に、平成15年度青森県地域福祉活動研究集会「精神障害者と共に生きる地域社会を考える集い」を開催。社会福祉関係者、ボランティア、一般の方々を含め延べ500名近くの参加があり、精神障害者保健福祉の問題に対する関心の高さがうかがえました。

集会では、藤代健生病院名誉院長の蟻塚亮二氏の「精神障害者と共に生きるために」と題した基調講演と「地域での生活支援活動を考える」と題したシンポジウムが行われました。



シンポジウムでは活発な意見交換が行われました

基調講演の中で蟻塚氏は、「障害というのは、環境と障害との反応。環境さえ整っている社会であれば、障害というのはなんら問題にならない」とし、精神障害者の地域生活を支える人と社会環境の重要性についてのお話をいただきました。

シンポジウムでは、シンポジストと参加者が一体となった意見交換が行われ、精神障害者の生活を支えるために地域社会や団体はこれからどうあるべきかについて皆で考えるよい機会となりました。

県社協から

● ご協力ありがとうございました

(1月分)

■ 青森県社会福祉協議会への寄付

- ・青森商工会議所女性会
- ・青森県自然薬研究会

■ 青森県善意銀行

- ・青森県中部特定郵便局長婦人会様からお預かりしたタオル193枚を青森若葉乳児院、弘前乳児院へ送りました。

● お詫びと訂正

「福祉のひろばNo.11」の施設紹介「八太郎山療護園」の記事の中で、「フィリピンからリハビリ職員採用」と掲載いたしましたが、正しくは「リハビリ指導のため講師としてきていただいている」ということです。読者ならびに関係者の皆様方にはご迷惑をおかけいたしました。お詫びして訂正します。



青森県福祉人材センター

福祉人材センター・バンクでは、福祉の職場で働きたいと考えている人のために、求職の相談・就職斡旋をしています。

◇開設時間 8:30~17:00 (土・日・祝祭日は休み)
※青森のみ第2・第4土曜日(9:00~16:00)開設しています。

◇求人テレホンサービス Tel 017-731-1111

◇福祉の仕事・職種・資格のホームページ
<http://www.shakyo.or.jp/hot/>

ご相談・お問い合わせは下記へ

- 青森県福祉人材センター TEL 017-777-0012
- 弘前福祉人材バンク TEL 0172-36-1830
- 八戸福祉人材バンク TEL 0178-47-2940

ホームページでも「福祉のひろば」がご覧いただけます。

■ 発行所

〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階

社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

TEL 017 (723) 1391 FAX 017 (723) 1394

URL <http://www.aosyakyo.or.jp>

E-mail fureai-net@aosyakyo.or.jp

■ 印刷所

株式会社コーセイ印刷



(当) 足を使って取材するからこそ感じる社協マンの努力や熱意。限られた紙面の裏側に隠れている「思い」が伝わることを願います。

(男) 社協って知ってるようで、知らないですよ。今回の特集で少しは理解していただけたでしょうか。みんなとっても頑張っています。

(沼) へこんだり、悩んだりしている人を笑顔に変えることができるのが社協の魅力。より魅力的な社協を目指し、頑張るぞー

(會) 編集で 福祉を学んだ 3年間

(中) 正直、取材先では、ああ、うんうんと、さすがカリスマ社協マン。納得ばかりでした。カリスマはプチカリスマを育成していました。

(美) 編集委員が選んだ社協マンと話すだけでパワーを得られました。社協の持つ大きな可能性を生かす社協マンになりたいと思いました。

(裕) 変遷を経てなお変わらぬ地域福祉への情熱に、はっとさせられ、反省とがんばるぞの気持ちが混じっています。決意新たに!!

(編集長) これまで取材に協力いただいた方々に感謝。同じ社協職員として熱意が伝わり、共感しました。これからも本広報誌の充実に励むぞ。

※今年度の発行はこれが最後です。この編集委員での作成もこれが最後となります。

この広報紙の発行のため青森県共同募金会から配分金を受けております。